

付 属 資 料

付属資料 1. ファイル名一覧

1-1 頭首工・ポンプ場実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PL	A～Z		P2Z	平面図	PLan
			PF				縦断図	ProFile
			CS				横断図	Cross Section
			GV				一般図	General View
			ST				本体工構造図	Structure
			DT				基礎工詳細図	DeTail
			AS				付帯工構造図	Additional Structure
			BA				配筋図	Bar Arrangement
			TS				仮設図	Temporary Structure
			EW				土工図	Earth Work

1-2 用水路（開水路）実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PP	A～Z		P2Z	平面縦断図	Plan and Profile
			SS				標準断面図	Standard cross Section
			CS				横断図	Cross Section
			ST				主要構造物構造図	Structure
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			RW				復旧工図	Restoration Work
			TS				仮設図	Temporary Structure
			EW				土工図	Earth Work

1-3 水路トンネル実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PP	A～Z		P2Z	平面縦断図	Plan and Profile
			SS				標準断面図	Standard cross Section
			CS				横断図	Cross Section
			BA				トンネル配筋図	Bar Arrangement
			PR				支保工加工図	PRocess
			DT				支保工詳細図	DeTail
			DT				矢板詳細図	DeTail
			DT				継目詳細図	DeTail
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			TS				仮設図	Temporary Structure
			EW				土工図	Earth Work

1-4 排水路実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PP	A～Z		P2Z	平面縦断図	Plan and Profile
			SS				標準断面図	Standard cross Section
			CS				横断図	Cross Section
			ST				主要構造物構造図	Structure
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			RW				復旧工図	Restoration Work
			TS				仮設図	Temporary Structure
			EW				土工図	Earth Work

1-5 パイプライン実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PP	A～Z		P2Z	平面縦断図	Plan and Profile
			SS				標準断面図	Standard cross Section
			CS				横断図	Cross Section
			ST				スラストブロック構造図	STructure
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			DT				異形管詳細図	DeTail
			RW				復旧工図	Restoration Work
			TS				仮設図	Temporary Structure
			PA				管割図	Pipe Arrangement
			EW				土工図	Earth Work

1-6 農道実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PP	A～Z		P2Z	平面縦断図	Plan and Profile
			AL				道路線形図	ALignments
			SS				標準断面図	Standard cross Section
			CS				横断図	Cross Section
			MC				土積図	Mass Curve
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			RW				復旧工図	Restoration Work
			TS				仮設図	Temporary Structure

1-7 農道橋実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			GV	A～Z		P2Z	一般図	General View
			AL				線形図	ALignments
			GS				上部工構造一般図	General view of Structure
			GS				下部工構造一般図	General view of Structure
			DT				上部工構造詳細図	DeTail
			DT				下部工構造詳細図	DeTail
			TS				仮設図	Temporary Structure
			EW				土工図	Earth Work

1-8 ほ場整備実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PL	A～Z		P2Z	計画平面図	PLan
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			TS				仮設図	Temporary Structure

1-9 地すべり実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9 A～Z	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PL			P2Z	平面図	PLan
			ST				ボーリング工構造図	SStructure
			ST				杭打工構造図	SStructure
			ST				法面保護工構造図	SStructure
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			RW				復旧工図	Restoration Work
			TS				仮設図	Temporary Structure
			EW				土工図	Earth Work

1-10 ため池改修実施設計

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理番 号	図面 番号	改訂履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9 A～Z	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PL			P2Z	平面図	PLan
			PF				縦断図	ProFile
			SS				標準断面図	Standard cross Section
			CS				横断図	Cross Section
			ST				洪水吐構造図	SStructure
			ST				取水施設構造図	SStructure
			AS				付帯施設構造図	Additional Structure
			RW				復旧工図	Restoration Work
			TS				仮設図	Temporary Structure

付属資料2. レイヤ名一覧

本要領(案)の線色、線種によりがたい場合は関係者間で協議のうえ、変更することができる。
ただし、線色を変える場合、できるだけ本要領(案)に示した色と同系統の色を使用するようにする。
また、レイヤ名の作図要素における n (-STRn、-HCHn 等) は、1～9、A～Z の順に利用することができる。

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色(例)	線種グループ(例)
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM	タイトル枠、凡例図枠	黄	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
		-BAND	縦断図の帯(文字を含む)	白	
	-BGD		現況地物(現況地盤線、既設構造物)	暗灰	実線
		-BGDn	現況地物 n	任意	
		-HICN	等高線の計曲線	赤	
		-LWCN	等高線の主曲線	白	
		-UGNn	現況埋設物 n	任意	
		-RSTR	ラスタ化された地図	-	
		-ETRL	推定支持層線	白	
		-BRG	ボーリング柱状図	暗灰	
		-BNDR	地層、岩体区分境界線	白	
		-BNDF	地層、岩体分布	任意	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
		-TXT	文字列	白	
	-HTXT	旗上げ	白		
	-BMK		基準線(中心線)	黄	一点鎖線
-BMK1		基準線 1(切断線)	黄	実線	
-BMK2		基準線 2(基準線(DL))	黄	実線	
-BMK3		基準線 3(マッチライン(ML))	黄	一点鎖線	
-BMK4		基準線 4(スプリングライン(SL))	黄	一点鎖線	
-BMKn		基準線 n	任意		
-SRVR		基準となる点(座標・測量ポイント、方位記号、トンボ)	緑		
-ROW		用地境界(線、幅杭)	橙		
-FRAM		諸元表枠、測点情報表枠	黄	実線	
-LINE		区切り線、罫線	白		
-TXT		文字列	白		
-HTXT	旗上げ	白			
-STR		主要構造物外形線	赤	実線	
	-HID	かくれ線	赤	破線	
	-STRn	構造物 n	任意	実線	
	-BAR1	鉄筋 1(鉄筋)	マゼンタ		
	-BAR2	鉄筋 2(スターラップ)	マゼンタ	二点鎖線	
	-BAR3	鉄筋 3(組立筋)	シアン		
	-BAR4	鉄筋 4(PC鋼材)	緑	実線	
	-BAR5	鉄筋 5(鉄筋加工図)	赤		
	-BARn	鉄筋 n	任意		
	-DIM	寸法線、寸法値	白		
-TXT	文字列	白			
-HTXT	旗上げ	白			
-BYP		副構造物外形線	シアン	実線	
	-HID	かくれ線	シアン	破線	
	-STRn	構造物 n	任意	実線	
	-DIM	寸法線、寸法値	白		
	-TXT	文字列	白		
-HTXT	旗上げ	白			
-MTR		材料表タイトル	白	実線	
	-FRAM	材料表図枠	白		
	-LINE	区切り線、罫線	白		
-DCR		文字列、数量表示文字列	白	実線	
	-HCH1	ハッチ部 1(断面図切り口)	暗灰		
	-HCH2	ハッチ部 2(切土部)	緑		
	-HCH3	ハッチ部 3(盛土部)	橙		
	-HCH4	ハッチ部 4(埋戻部)	水		
	-HCHn	ハッチ部 n	任意		
-MAKn	記号 n	任意			
-DOC		文章(説明、指示、参照事項等)	白	実線	
-SUV		地形図等の改変しない測量データ	任意	任意	
-ORD	(注)	発注図に作図する注記、旗上げ等	任意	任意	

(注) 図面オブジェクト「ORD」について

図面オブジェクト「ORD」のレイヤは、発注者が発注図として注記や旗上げ等を作図するためのものである。命名規則の作図要素は使用せず、ユーザ定義領域を使用し内容を示すものとする。文字は任意の全角文字、半角英数字とする。

【例】

レイヤ名	レイヤに含まれる内容
C-ORD--注記	発注図に記載する注記等の文章、文字
C-ORD--旗上げ	発注図に記載する旗上げ
C-ORD--ハッチ	発注図に記載するハッチング
C-ORD--色塗り	発注図に記載する色塗り

作図要素を使用しないため、- (ハイフン) が2 個連続する。

上記例のほか、ユーザ定義領域を省略し「C-ORD」も使用可能。

付属資料 3. 図面管理ファイルのDTD

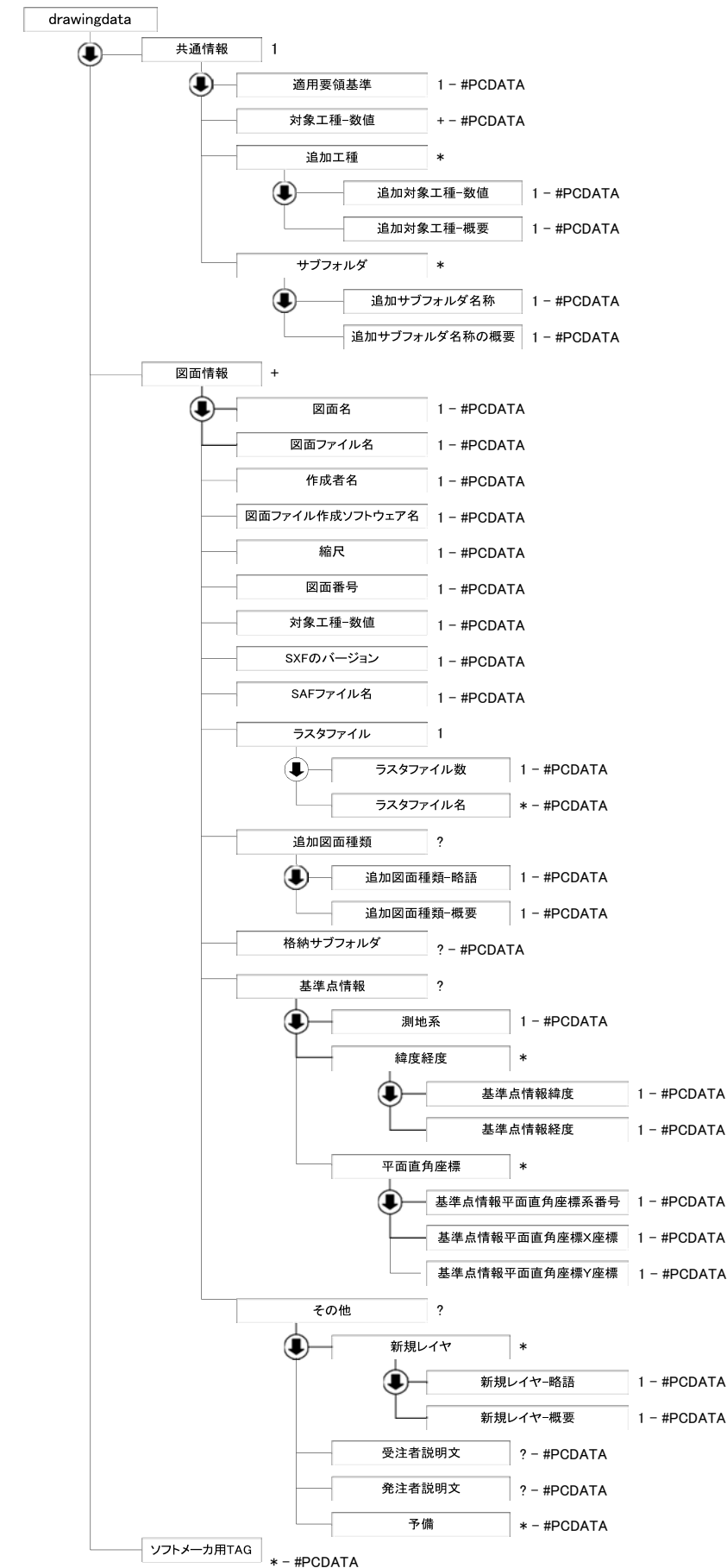
成果品の電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.XML) の DTD (DRAW04.DTD)を以下に示す。

```
<!--DRAW04.DTD / 2019/03 -->
<!ELEMENT drawingdata (共通情報, 図面情報+, ソフトメーカー用 TAG*)>
<!ATTLIST drawingdata DTD_version CDATA #FIXED "04">

<!-- 共通情報 -->
<!ELEMENT 共通情報 (適用要領基準, 対象工種-数値+, 追加工種*, サブフォルダ*)>
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 対象工種-数値 (#PCDATA)>
<!-- 追加工種 -->
<!ELEMENT 追加工種 (追加対象工種-数値, 追加対象工種-概要)>
<!ELEMENT 追加対象工種-数値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加対象工種-概要 (#PCDATA)>
<!-- サブフォルダ -->
<!ELEMENT サブフォルダ (追加サブフォルダ名称, 追加サブフォルダ名称の概要)>
<!ELEMENT 追加サブフォルダ名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加サブフォルダ名称の概要 (#PCDATA)>

<!-- 図面情報 -->
<!ELEMENT 図面情報 (図面名, 図面ファイル名, 作成者名, 図面ファイル作成ソフトウェア名, 縮尺, 図面番号, 対象工種-数値, SXFのバージョン, SAFファイル名, ラスタファイル, 追加図面種類?, 格納サブフォルダ?, 基準点情報?, その他?)>
<!ELEMENT 図面名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 作成者名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 縮尺 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT SXFのバージョン (#PCDATA)>
<!ELEMENT SAFファイル名 (#PCDATA)>
<!-- ラスタファイル -->
<!ELEMENT ラスタファイル (ラスタファイル数, ラスタファイル名*)>
<!ELEMENT ラスタファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ラスタファイル名 (#PCDATA)>
<!-- 追加図面種類 -->
<!ELEMENT 追加図面種類 (追加図面種類-略語, 追加図面種類-概要)>
<!ELEMENT 追加図面種類-略語 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加図面種類-概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 格納サブフォルダ (#PCDATA)>
<!-- 基準点情報 -->
<!ELEMENT 基準点情報 (測地系, 緯度経度*, 平面直角座標*)>
<!ELEMENT 測地系 (#PCDATA)>
<!-- 緯度経度 -->
<!ELEMENT 緯度経度 (基準点情報緯度, 基準点情報経度)>
<!ELEMENT 基準点情報緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点情報経度 (#PCDATA)>
<!-- 平面直角座標 -->
<!ELEMENT 平面直角座標 (基準点情報平面直角座標系番号, 基準点情報平面直角座標 X 座標, 基準点情報平面直角座標 Y 座標)>
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標系番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標 X 座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標 Y 座標 (#PCDATA)>
<!-- その他 -->
<!ELEMENT その他 (新規レイヤ*, 受注者説明文?, 発注者説明文?, 予備*)>
<!-- 新規レイヤ -->
<!ELEMENT 新規レイヤ (新規レイヤ-略語, 新規レイヤ-概要)>
<!ELEMENT 新規レイヤ-略語 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 新規レイヤ-概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)><!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>
```

DRAW04.DTD の構造図



: 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付属資料 4. 図面管理ファイルのXML 記入例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW04.DTD">
<drawingdata DTD_version="04">

  <共通情報>
    <適用要領基準>農村振興土木201903-01</適用要領基準>
    <対象工種-数値>001</対象工種-数値>
    <追加工種>
      <追加対象工種-数値>100</追加対象工種-数値>
      <追加対象工種-概要>道路網・路線計画</追加対象工種-概要>
    </追加工種>
    <サブフォルダ>
      <追加サブフォルダ名称>ROAD01</追加サブフォルダ名称>
      <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇道路計画 1 工区</追加サブフォルダ名称の概要>
    </サブフォルダ>
    <サブフォルダ>
      <追加サブフォルダ名称>ROAD02</追加サブフォルダ名称>
      <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇道路計画 2 工区</追加サブフォルダ名称の概要>
    </サブフォルダ>
  </共通情報>

  <図面情報>
    <図面名>全体平面図</図面名>
    <図面ファイル名>001DOPLZ-全体平面図.P21</図面ファイル名>
    <作成者名>〇〇建設コンサルタント株式会社</作成者名>
    <図面ファイル作成ソフトウェア名>〇〇CADVer1.0</図面ファイル作成ソフトウェア名>
    <縮尺>1:10000</縮尺>
    <図面番号>1</図面番号>
    <対象工種-数値>001</対象工種-数値>
    <SXFのバージョン>3.0</SXFのバージョン>
    <SAFファイル名>001DOPLZ-全体平面図.SAF</SAFファイル名>
    <ラスタファイル>
      <ラスタファイル数>3</ラスタファイル数>
      <ラスタファイル名>001DOPL1-全体平面図.TIF</ラスタファイル名>
      <ラスタファイル名>001DOPL2-全体平面図.JPG</ラスタファイル名>
      <ラスタファイル名>001DOPL3-全体平面図.TIF</ラスタファイル名>
    </ラスタファイル>
    <追加図面種類>
      <追加図面種類-略語/>
      <追加図面種類-概要/>
    </追加図面種類>
    <格納サブフォルダ>ROAD01</格納サブフォルダ>
    <基準点情報>
      <測地系>02</測地系>
      <緯度経度>
        <基準点情報緯度>0352250</基準点情報緯度>
        <基準点情報経度>1384115</基準点情報経度>
      </緯度経度>
      <平面直角座標>
        <基準点情報平面直角座標系番号>06</基準点情報平面直角座標系番号>
        <基準点情報平面直角座標 X 座標>-8298.682</基準点情報平面直角座標 X 座標>
        <基準点情報平面直角座標 Y 座標>-34857.294</基準点情報平面直角座標 Y 座標>
      </平面直角座標>
    </基準点情報>
    <その他>
      <新規レイヤ>
        <新規レイヤ-略語>D-BMK-〇〇〇〇</新規レイヤ-略語>
        <新規レイヤ-概要>設計図面背景の〇〇〇に関するレイヤ</新規レイヤ-概要>
      </新規レイヤ>
      <新規レイヤ>
        <新規レイヤ-略語>D-STR-XXXX</新規レイヤ-略語>
        <新規レイヤ-概要>設計図面主構造物の XXX に関するレイヤ</新規レイヤ-概要>
      </新規レイヤ>
      <受注者説明文/>
      <発注者説明文/>
      <予備/>
    </その他>
  </図面情報>
</drawingdata>
```

</図面情報>
<ソフトメーカー用 TAG/>
</drawingdata>

付属資料5. SXF の圧縮について

- ・ 図面ファイル（P21 又は SFC ファイル）と属性ファイル（SAF ファイル）とラスタファイル（TIFF, JPEG）をまとめたものを圧縮ファイルとする。
- ・ 圧縮ファイル形式は ZIP 形式とする。
- ・ パスワードの設定はしない。
- ・ 拡張子は、図面ファイルが P21 の場合は P2Z とし、SFC の場合は SFZ とする。
- ・ 圧縮ファイルには、1つの図面ファイルを含める。
 - ※図面が参照していないファイルは圧縮ファイルに含めない。
 - ※朱書きファイルを圧縮する場合は、図面ファイルと同様に行う。関連する本体図面の圧縮ファイルに含めない。